

2022年度 第2回9月名大本番レベル模試 地理 採点基準

**1 単答記述問題**

誤字，脱字，漢字間違いは0点。

**2 論述問題**

- ① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。
- ② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

**3 共通減点基準**

- ① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは1点減点。
- ② 下線の付け忘れは1問につき1点減点。
- ③ 指定用語不使用は，指定用語1つにつき1点減点。  
(解答中のどこかで使用していればよい。  
加点ポイントの脱落による減点がある場合は，それ以上の減点は不要。)
- ④ 字数オーバーは1点減点。

\*減点しなくていい要素，その他の注意

- ① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇔スロベニア，パキスタン⇔パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。
- ② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は0点だが，減点はしない。
- ③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。
- ④ 文章が未完のものも減点しない。

**4 採点記号について**

- 1. <□□□□> 加点ポイント
- 2. □□□□× 事実誤認あり
- 3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

**5 設問別加点基準**

- 1) \_\_\_\_\_ 部分は必須キーワードであり、この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。
- 4) 「 A 」が「 B 」→1 点 は、「 A 」と「 B 」の両方の要素があれば 1 点加点する。

問題 I

問 2[背景] 10 点

P のイタリア北西部は、大企業が重化学工業の発展を牽引し、イタリア経済の中心地となっている。Q の地域も、中小企業や職人が服飾などの伝統工業の高度な技術を継承し、繁栄している、これらに対し、タラントのあるイタリア南部は工業化の遅れた農業地帯であり、所得水準が低いため、政府主導の工業開発で地域格差の解消が目指された。

【加点ポイント】

- |  |   |                  |
|--|---|------------------|
| ① (P について) ・イタリアの経済の中心地である／所得水準が高い       | } | 1 つ 2 点<br>3 点まで |
| ・重工業 (重化学工業) が発展／古くから工業が発展               |   |                  |
| ・大企業が集積する                                |   |                  |
| ② (Q について) ・伝統工業が発達／職人による高度な技術を継承        | } | 1 つ 2 点<br>3 点まで |
| ・繁栄している／所得水準が高い                          |   |                  |
| ③ (南部について) ・農業地帯である／工業化が遅れている            |   | →1 点             |
| ・所得水準が低い／北部にくらべ貧しい                       |   | →1 点             |
| ④ (製鉄所建設の目的) 地域格差の解消／南北の格差是正／南部の所得水準を上げる |   |                  |
| ／南部の経済発展を政府が主導                           |   | →2 点             |

問3 10点

【指定語句】 競争力 水力発電 石油危機 ボーキサイト 4つ全て 下線付きで使用

(※下線の付け忘れは1点減点)

ボーキサイトからアルミニウムを製錬するためには大量の電力を必要とする。そのため、火力発電が中心の日本は石油危機による発電コストの上昇以降、アルミニウム工業の立地に不利な場所となり、水力発電の盛んな国など、発電コストの低い国々に対する競争力を失った。

【加点ポイント】

→「精錬」も可

- ① (アルミニウム工業の特徴)・ボーキサイトを原料とする/ボーキサイトを製錬する →2点  
・大量の電力を必要とする/電力指向型工業である →2点
- ② (日本の電力事情) 火力発電中心である/水力発電は少ない →2点
- ③ (衰退の契機) 「石油危機」による「発電コストの上昇/電力料金の高騰/原油の高騰」 →2点
- ④ (衰退の背景) (水力発電など) 発電コストの低い国が有利である  
/発電コストの低い国は競争力を持つ  
/日本は発電コストが高いため競争力を失った →2点

問8 南アフリカ共和国 →2点 「南アフリカ」のみ →△1点

問9 8点

レアメタルが、鉱山を支配下に置く武装勢力の資金源となり、内戦や民族対立が長期化する一因となってきた。また、鉱山では、児童労働や強制労働が横行してきた。

【加点ポイント】

- ① レアメタルが武装勢力(反政府組織)の資金源となる/武装勢力が鉱山を支配している →3点
- ② (①による政治問題) 内戦が長期化する/民族対立が激化する →3点
- ③ (①による社会問題) 児童労働/強制労働が行われる →2点

問10 10点

日本は地下資源に恵まれないが、すでに市場に出回った電子機器の中に大量のレアメタル、金、銀などの資源が含まれている。それらを電子機器が廃棄される際に取り出し、再利用することを考えれば、日本は世界有数の資源保有国とみなすことができるため、都市鉱山という表現が用いられるようになった。

【加点ポイント】

- ① (資源の存在場所として) 電子機器の中/ハイテク製品/電気製品 →3点
- ② (①について) 日本は早くから普及している/日本では大量に普及している →3点
- ③ (①について) 廃棄される際に取り出せば資源と呼べる  
/廃棄されるものから再利用できる →4点

問題Ⅱ

問3 4点 C. B. D. (※ピリオドの有無や数は不問とする)

問4 12点

アは都心にあたり、1990年代前半までは、地価の高騰と過密に伴う住環境の悪化から郊外へ人口が流出するドーナツ化現象が進んだ。しかし、バブル経済の崩壊により地価が下落し、都心が再開発されて高級マンションなどが増えると、1990年代後半から比較的若い富裕層の人々が流入するジェントリフィケーションが進んだ。

【加点ポイント】

★問1「ア：B」を正解していることを加点の前提とする

- ① (1995年まで) 人口が減少している／人口が郊外に流出した →1点
- ② (①の背景) 地価(住宅費)の高騰／過密／住環境の悪化 →2点
- ③ (①の現象として) ドーナツ化現象 →2点
- ④ (1995年以降) 人口が増加している／人口が流入した／人口の都心回帰が起こった →1点
- ⑤ (④の背景) バブル崩壊／バブル経済崩壊 →2点
- ⑥ (④の背景) ・地価の下落  
・都心の再開発／高層マンションの建設／住宅供給の増加  
・富裕層の流入／ジェントリフィケーション

} 1つ2点  
4点まで

問5[理由] 12点

農村だった郊外地域に住宅や工場が無計画に建てられ、並行して狭い道路が無計画に連結されたため、交通渋滞が発生しやすい。また、農業機械や肥料が使用される農地、工作機械や化学薬品が使用される工場と住宅地が混在するため、騒音や悪臭が問題になりやすい。

【加点ポイント】 (※問1と問5[現象名]の正否は問わない)

- ① (交通渋滞の理由) 狭い道路が無計画に連結された／道路の敷設が無計画になされた  
／住宅地や工場から幹線道路までの道路が狭い →4点
- ② (騒音・悪臭の理由) ・住宅地と農地・工場が混在する →4点
- ③ (騒音の理由) 農業機械／工作機械／工場での製作音 →2点
- ④ (悪臭の理由) 肥料／農薬／化学薬品／工場からの排煙 →2点

問6 12点

都心へ通勤する人々のために大規模な新興住宅地が開発され、働き盛りの世代とその子供の世代が、短期間のうちに大量に移り住んだ。そのため、多くの小中学校が必要となり、設置されたが、その子供たちが学齢を過ぎると急速に児童・生徒数が減少し、小中学校の数が過剰になった。

【加点ポイント】 (※問1の正否は問わない)

- ① (ウの特徴) 大規模な新興住宅地が開発された／ニュータウンが造られた  
／大規模なベッドタウンが造成された →3点
- ② (①により) 働き盛りの世代とその子供の世代が、短期間のうちに大量に移り住んだ  
／若い夫婦や学齢期の子どもを持つ世帯が一斉に入居した →4点
- ③ (②のために) 多くの小中学校が新設された →2点
- ④ (③が過剰になった理由) ②の子供たちが学齢を過ぎた  
／②の子供たちの卒業後は新たな入学者が少ない  
／新たな入居者が少なくこの地域の少子高齢化が進んでいる →3点

問7[集落の課題] 12点

[指定語句] 過疎化 冠婚葬祭 公共交通 存続 4つ全て 下線付きで使用

(※下線の付け忘れは1点減点)

過疎化による人口減少と住民の高齢化により、農作業や冠婚葬祭などを共同で行うことが困難となった。また、地域の商店の廃業や公共交通機関の撤退、病院・診療所の廃止などにより生活環境も悪化しており、集落の存続が危ぶまれる。

【加点ポイント】 (※問7[集落の呼称]の正否は問わない)

- ① (人口の特徴) ・過疎化が進む／人口減少が著しい →2点  
・高齢化が進む／若年者が少ない →2点
- ② (①による課題) ・冠婚葬祭などを共同で行うことが困難／農作業の助け合いが困難  
・地域の商店の廃業／買い物難民の増加  
・公共交通機関の撤退／公共交通機関の減少  
・病院や診療所の廃止／生活関連サービスの質の低下  
／公共機関(役所など)集約による利便性の低下 } 1つ2点  
6点まで
- ③ (①②により) 集落の存続が危ぶまれる →2点

問題Ⅲ

問1[河口の位置] 「河川名」が無い場合 →△1点

問1[河口の地形名]

セントローレンス川: エスチュアリー／エスチュアリ／三角江 →2点

ミシシッピ川: 三角州／デルタ／鳥趾状三角州 →2点

問2[気候区] 2点 地中海性気候/地中海性気候区 (※問2[記号]の正否は問わない)

問2[説明] 6点

夏季は亜熱帯高圧帯の影響を受けて乾燥し、冬季は亜寒帯低圧帯の影響を受けて湿潤となる。

【加点ポイント】 (※問2[記号]の正否は問わない)

- ① (降水量の特徴) 夏季(夏/高日季)は乾燥(降水量が少ない) →1点
- ② (降水量の特徴) 冬季(冬/低日季)は湿潤(降水量が多い) →1点
- ③ (①の成因) 夏季は亜熱帯高圧帯(中緯度高圧帯)の影響を受ける →2点
- ④ (②の成因) 冬季は亜寒帯低圧帯(高緯度低圧帯)の影響を受ける  
/冬季は海からの偏西風の影響を受ける →2点

問3[特徴] 8点

冷涼かつ氷河による侵食でやせた土壌が広がっているため穀物栽培には向かないが、牧草の生産には好条件であり、大都市の市場に近い立地をいかして乳製品を生産する。

【加点ポイント】

★問3「農牧業：酪農」を正解していることを加点の前提とする

- ① (農業の特徴) 乳製品を生産する/乳牛を飼育し酪製品を生産する →1点
- ① (自然条件)・冷涼/気温が低い →1点  
・「氷河による侵食/氷食」で「土壌がやせている」 →「1点」+「1点」
- ② (①のため)・穀物栽培には向かない →1点  
・牧草(飼料作物)の栽培はできる →1点
- ③ (社会条件) 大都市に近い/大市場に近い/東海岸の大消費地に近い →2点

問5 10点

線Pは北緯37度の緯線であり、これより南部の地域はサンベルトと呼ばれている。温暖な気候で労働力が安価に確保できることや、石油や天然ガスなどの鉱物資源の産出地であることを背景に、石油化学工業や航空宇宙産業、先端技術産業などが見られる。

【加点ポイント】

- ① (線Pの緯度) 北緯37度/北緯37° →2点 (※「北緯」なし →加点しない)
- ② (線P以南の呼称) サンベルト →2点
- ③ (工業が発展した理由)・温暖な気候 →1点  
・安価な労働力/安価な土地 →1点  
・石油や天然ガスの産出地/鉱物資源に恵まれる →1点
- ④ (盛んな業種)・石油化学産業  
・航空宇宙産業  
・先端技術産業/ハイテク産業/ICT産業 } 1つ2点  
3点まで